

意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
1森(美)委員	主な取組 1. 地域コミュニティ協議会の活動支援		「市には14のコミュニティ協議会が設置されており、3地域に分かれて情報共有しながら市の発展に努めています。」という内容を入れてほしい。	ご指摘を踏まえ、「5年後の守口像実現に向けた現状と課題」の1. を次のとおり修正します。 「市域内には小学校区を単位とした地域コミュニティ協議会が結成されており、地域課題の解決に向けて中心的な役割を担っておりますが、その運営の中心となる町会等において、担い手不足や加入率の低下等が顕著になってきており、安定的な活動を継続していくための体制を如何に整えていくかが課題となっています。」	あり	
2安田副会長	全体	質問	日赤は、現状小学校単位(19校区)で活動しております。 その中でも3校区のエリア委員長、地区委員も不在となっており、全地域への活動が少しずつ困難な状況になってきております。 今後、コミュニティ単位での活動への切り替えなども考えています。 そこで、各種団体や危機管理の防災訓練などは、どのような区分で活動をされているのでしょうか。	市内自主防災組織(R7.4.1時点 170組織)を旧小学校区毎(19地区)に分け、地域防災計画で定めるブロック内1～2地区を1回あたりの訓練対象として年2回、自主防災訓練を順番に実施しています。		
3池嶋委員			近年自治会から会員の脱退が多いと聞いているが、今後地域活動を維持していく上で、どの様にして脱退を防ぐ方策を各自治会に提案していくのか。	行政としても自治会の必要性を感じていることから、市ホームページや市広報誌において自治会への加入促進を呼びかけているほか、転入者へ配付する「暮らしの便利帳」へも同様の内容を掲載するなど、幅広い周知に努めています。今後も引き続き、様々な手法や内容での加入促進について検討していきます。		
4武田委員	現状と課題		校区の統合や義務教育学校の設置により、地域コミュニティ協議会などスムーズな地域を統合するための支援が課題です。	今年度に合併された地域がありましたが、両地域との対話を通じて、必要な手続き面での支援を行いました。 今後についても、合併される際には、その準備段階から両地域との対話を重ね、求められるニーズに丁寧に応えるよう支援していきます。		
5武田委員			各エリアコミュニティセンターでの情報共有や意見交換にとどめず、市域全体の情報共有と意見交換ができるよう支援してほしい。	現在、市内を3エリアに分け、地域コミュニティ協議会同士の情報交換を目的として、定期的に連絡会議を開催されており、市も参加することで、エリアに限定しない市域全体での情報共有に努めています。 委員ご指摘の市域全体の情報共有と意見交換ができるような支援について、今後も引き続き検討していきます。		
6武田委員			地域コミュニティ協議会が中心となり、小学校・中学校及び義務教育学校との連携が重要。	各地域の小学校及び中学校の教職員は、各地域コミュニティ協議会の構成員であると市も認識しており、更なる連携の強化は重要であると考えています。		
7福本委員	主な取組 1. 地域コミュニティ協議会の活動支援	修正	・地域コーディネーターの意味は、地域と学校、または地域間の様々な人や組織の間を取り持ち、協力関係を築くための「橋渡し役」をするのとあるように、いきなりコミュニティセンターの指定管理者に対して、地域コーディネーターの役割を持たせるのではなく、「学校運営協議会と連携を取りつつ」という文言を入れた方が具体的ではないか。	ご指摘の箇所に記載の「地域コーディネーター」については、現在、実際に指定管理者に対して求めている役割の一つである自治会・町会支援としてのコーディネーターを指しており、ご指摘のような橋渡し役を求めているものではないため、記載内容を次のように修正し、記載箇所を「2. コミュニティセンターを拠点としたコミュニティづくりの促進」の3ボツ目に変更します。 ・各コミュニティセンターの指定管理者に対し、自治会・町会支援としてのコーディネーターの役割を持たせることで、地域が抱える課題等を相談できる環境づくりを行い、課題解決に繋がります。	あり	
8福西委員	5年後の守口像		「5年後の守口像」の文章が分かりにくいので、例えば下記のようにしてはどうかと思います。 ・1 地域コミュニティ協議会が、公益的な活動に必要な支援を行うことにより、地域住民の主体的なコミュニティ活動(地域文化・地域活動等)を促進しています。また、地域課題の解決に向けて中心的な役割を担うことで、守口の市民コミュニティが強靱なものとなっています。 ・2 コミュニティセンターが拠点となって、様々なテーマの学習・研修の機会や交流の場を提供することで、市民と市民の多様なつながりが広がり、地域課題に対する意識や関心を高めた市民の地域活動等への参加・参画が進んでいます。	ご指摘を踏まえ、1について、次のように修正します。 「地域コミュニティ協議会の公益的な活動に対して必要な支援を行うことにより、地域住民の主体的なコミュニティ活動(地域文化・地域活動等)を促進しています。また、地域課題の解決に向けて中心的な役割を担うことで、守口の市民コミュニティが強靱なものとなっています。」 2について、ご指摘のとおりに修正します。	あり	

	意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
9	福西委員	現状と課題 1		「地域コミュニティ協議会が中心となり、地域住民の想いを反映したまちづくりを行えるかが重要と考えますが、役員・運営の担い手不足、加入率の低下等が顕著」 ・協議会は、地域によって構成団体に若干の違いはあるものの町会等の各種団体で構成されています。そのため、協議会が直接的に担い手不足という問題を抱えているとは言えないのではと思います。(町会等が担い手不足という問題を抱えていることは認識しています) ・地域コミュニティ協議会の「加入率の低下」との指摘の意味するところが理解できません。(例えば、町会の加入率だと、町会費を納めている世帯数でわかりますが)	ご指摘を踏まえ、「5年後の守口像実現に向けた現状と課題」の1. を次のとおり修正します。 「市域内には小学校区を単位とした地域コミュニティ協議会が結成されており、地域課題の解決に向けて中心的な役割を担っておりますが、その運営の中心となる町会等において、担い手不足や加入率の低下等が顕著になってきており、安定的な活動を継続していくための体制を如何に整えていくかが課題となっています。」	あり	
10	福西委員	主な取組 2. コミュニティセンターを拠点としたコミュニティづくりの促進		「さらなる地域開放や利用を行う「地域館」機能を備える集会所の周知に努めるとともに、各町会に対して地域館となるよう働きかけていきます。」 ・地域館について説明不足だと思います。例えば、「当該地域の住民に限らず誰でも利用できる「地域館」機能を備える」にしてはどうでしょうか。 ・地域館としての活用実態からすると、「地域館となるよう働きかける」だけでは不十分だと言えます。地域館の目的である「誰もが利用しやすい環境整備についても働きかける」必要があると思います。	1ポツ目のご指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 「～略～地元合意に基づき、当該地域の住民に限らず誰でも利用できる「地域館」機能を備える集会所の周知に努めるとともに、各町会に対して、地域館となるよう働きかけていきます。」 2ポツ目のご指摘について、誰もが利用しやすい環境整備について広くご理解いただく事は重要と考えることから、地域館となるよう働きかける際には、その趣旨や目的について丁寧な説明に努めていきます。	あり	
11	久会長	評価指標	修正意見	評価指標が「市内の地域コミュニティ協議会の事業実施数」となっていますが、従来からの事業を継続しながら新たに事業を立ち上げるとますます負担が増加しないでしょうか。「内容を改めた事業や新たに開始した事業の数」「20歳代～40歳代で企画運営に関わる人数」など、魅力的な地域活動への変化を測る指標に替えることも考えられます。	ご指摘を踏まえ、「内容を改めた事業や新たに開始した事業数」に修正します。	あり	
12	久会長	主な取組 1. 地域コミュニティ協議会の活動支援	修正意見	地域活動への参加者、とくに若年層の参加者が少ないのは、従来型の活動に魅力を感じていないことも少なくないと思います。決められた行事を義務的に実施するだけの活動から、各自がやりたい活動を自発的に行える団体への改革が求められます。そこで「1. 地域コミュニティ協議会の活動支援」に「参加者が自発的に担える活動を増やすなど、魅力的な地域活動を展開できるよう支援を行います」という文言を付け加えてはどうでしょうか。	ご指摘を踏まえ、「1. 地域コミュニティ協議会の活動支援」の1ポツ目を次のとおり修正します。 ・地域住民による主体的なコミュニティ活動が活性化するように、幅広い世代が参加する魅力的な地域活動を展開できるよう必要な支援を行います。	あり	
13	福西委員 久会長	主な取組 2. コミュニティセンターを拠点としたコミュニティづくりの促進	当日意見	・地域館となるように働きかけるのはわかりますが、地域館となって実際に他の地域の方が使いやすくなるような環境を整備してほしいといった働きかけも併せてお願いしたいと思います。その点修正いただきたいです。 ・素案P.27に地域館の話が出てくるが、集会所の周知の前に、地域館になる意味もきちんと伝えるという書きぶりにすると、意見が反映されるので、事務局で考えてもらいたいと思います。	ご意見を踏まえ、「主な取組2の5ポツ目」を以下のとおり修正します。 ・一区域の住民に限らず誰でも利用できる「地域館」を増やすことにより、さらなる地域コミュニティの活性化に繋げるため、町会等に対して「地域館」となるよう働きかけてまいります。 また、町会等に対し働きかける際には丁寧な説明を行うことで、その趣旨や目的等に即した運営に繋がります。	あり	
14	福本委員	主な取組 1. 地域コミュニティ協議会の活動支援	当日意見	コミュニティ協議会があれば町会と連携するが、学校との連携がなかなか取れないということがあります。その中でコミュニティはコミュニティだけやればいいのではなく学校運営協議会とも連携が取れば、新たな人が発掘できるのではないかと。人間関係がない所で急に役割を持たせようと、やることが連絡のみとなってしまう、本当に地域で活躍する人を育てられないのではないかと、そういう意味で学校運営協議会との連携が大事だと思います。	コミュニティ協議会と学校、学校運営協議会やその他様々な団体との連携は、今後のコミュニティ活動の持続的な発展にとって大事であると認識しております。 そのため、主な取組1の3ポツ目で記載の「様々な主体」には、学校運営協議会も含まれることを想定しております。 また、令和5年度から指定管理者に対し、地域が抱える課題等の相談を受け、地域と共に解決に取り組むコーディネーターとしての役割を持たせています。その取り組みを今後も継続していきたいとの趣旨で記載させていただいております。	なし	①

基本計画(素案)に対する【質問】【意見】一覧（施策12 市民協働） P28、29

※事務局の考え方として、修正なしとした理由を以下のとおり区分します。

①既に、ご意見等の内容を踏まえた素案としているもの

②ご意見等の内容が個別・具体的なため、素案を修正しないもの(なお、今後の事業の展開にあたっては、参考とさせていただきます。)

③その他の理由により、修正しないもの

資料1-2

意見提出者		該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
1	安田副会長	全体	質問	協働事業に参画している各種団体などは、高齢化が進んでおり、将来を見据えて子どもや学生などこれからの社会を担う人たちへの意識づけが必要ではないでしょうか。	ご質問にある通り、これからの社会を担う世代に対する「協働」の意識づけについての必要性はあると考えております。若い世代が「協働」について考える機会の創出に取り組んでまいります。		
	武田委員			2014年に創設し、2024年度までの10年間で46件の応募があり、その内11件の事業実施となると、非常に狭き門という印象に感じます。	応募頂いた提案につきましては、守口市市民協働推進会議において慎重な審議が実施されております。また、提案事業内容が推進会議委員に正確に伝わるよう、申請書等に提案団体の考え等が反映されているかなどを事前にヒアリングし、確認しております。		
	福本委員	主な取組 1. 地域課題の解決に向けた市民のアイデアの具体化の支援	修正	・守口市公募型協働事業提案制度の提案件数が2件とは少ない気がする。今までの方法を変えていけないといけないのではないか。他市の取り組みを研究するかターゲットを広げてはどうか。 ・分かりやすい制度へ見直しや周知方法を研究しつつ、「高校生や大学生」がより提案しやすくなるような方策を検討します。としてはどうか。	ご意見を踏まえ、下記のとおり「主な取組1」を修正します。 ・守口市公募型協働事業提案制度においてより多くの提案がされるように、分かりやすい制度へ見直しや効果的な周知を図るなど、学生等のこれからの社会を担う世代からも提案しやすくなるような方策を検討します。	あり	
4	福西委員	主な取組 2. 協働の意義に基づく市民団体等との協働事業の実施		「市民団体や市民個人、事業者などが協働の意義を共有し」、「協働に対する理解と関心を図り」 ・そもそも「協働」という言葉自体の認知度が低いと感じます。この点について、どのような認識をお持ちでしょうか。 ・「守口市特性・主要課題について」のP34⑥「行政コストが増加してもさらに充実すべき取り組みは」との質問について、「市民協働の推進」との回答は2%でしかありません。まずは、「協働とは何か」についての丁寧な説明が必要だと思います。	ご指摘のとおり、市民アンケートの結果からしても市民協働についての認知度が低い状況にあると認識しております。今後、「協働とは何か」「協働の重要性」などについて丁寧な説明に努めてまいります。		
	福西委員	主な取組 3. 市民意見の市政への反映に向けた広聴活動の充実		「市民意見の市政への反映に向けた広聴活動の充実」 ・少しわかりにくいので、「市民の意見が市政に反映されるような広聴活動の充実」等にしてはどうかと思います。	ご意見を踏まえ、「市民の意見が市政に反映されるような広聴活動の充実」に修正します。	あり	
6	久会長	主な取組	修正意見	総務省「自治体戦略2040構想研究会」報告でも、サービスプロバイダーからプラットフォームビルダーへの転換が提案されています。自発的に協働が生まれるには「プラットフォーム」が必要であり、行政にその中核的役割が求められます。主な取り組みにもこうした記述が必要だと思います。	ご意見を踏まえ、「主な取組2」に3ボツ目を追加します。 ・地域課題の解決に向けた公共私(自治体・地域を支える共助の主体・民間)の連携・協働の基盤の構築に向け連携のあり方について検討を進めます。	あり	
7	由井委員	評価指標		成果指標に市民の声の提出件数が入っているが、回答件数が入っていないのはなぜか。できうる限りの市民の声に回答すべきという観点から、回答件数も指標に加えるべきではないか。	市民の声の回答につきましては、連絡先がないものや市政に関連のないもの等については、回答をしないこととしております。成果指標を定める際には、これらの声も市民の声を含めた方が、正しい指標になると考えておりますので、提出件数を成果指標にしています。	なし	①
8	由井委員	主な取組 3. 市民意見の市政への反映に向けた広聴活動の充実		市の施策や行政情報が広く行きわたるように、市民とともに具体的な方策を検討しますとあるが、広報・広聴の手法としては市長タウンミーティング制度や、市民ふれあい講座など既存の制度がある。市長タウンミーティングについては2年ほど開催されていない。広聴は住民自治にとって重要な、大きなテーマであるにもかかわらず、基本計画素案の段階とはいえこれらの活用を広げる等、方向性を市として持っていないのか。	広聴活動については、ご指摘のされている制度の他に、市民の声として、市内13カ所に設置している投書箱や手紙、メールや電話でも市への要望等を承っております。方向性としては、これらの制度の周知をすすめていきたいと考えております。		
9	由井委員	評価指標	当日意見	・回答できなかった件数を省き、回答できた件数を含めるべきだと思うが、事務局の考え方では評価指標の表示方法はおかしくなるのではないかと思います。 ・市民の声の回答要件を満たしていないものも評価指標に含まれているので、極端に言えば誹謗中傷が非常に多くても、市民の声がたくさん出されたと指標が上がっていくことになるので、これは検討してほしいと思います。	誹謗中傷や市政に関連のないものなどが記載されたものについては、市民の声として取り扱わないものとしており、元々、市民の声の数に入っていないため、その件数を省いたものが「市民の声の数」として明記しております。なお、その明記している「市民の声の数」には、回答できた市民の声のみならず、回答できなかった市民の声(連絡先が不明であるが、市政に関連したもの)となっております。	なし	①
	森(美)委員	主な取組 2. 協働の意義に基づく市民団体等との協働事業の実施	当日意見	駅伝大会は今年の12月をもって開催されなくなりますので、これは抜いたほうが良いと思います。	ご意見の通り修正します。	あり	
	事務局	主な取組 2. 協働の意義に基づく市民団体等との協働事業の実施	審議会後修正		より分かりやすい表現とするため、以下のとおり修正します。(上記「6」関連) ・地域課題の解決に向けた公共私(自治体・NPO・市民団体・地域団体・民間企業・市民)の連携・協働の基盤の構築に向け連携のあり方について検討を進めます。	あり	

基本計画(素案)に対する【質問】【意見】一覧 (施策13 生涯学習・スポーツ) P30、31

※事務局の考え方として、修正なしとした理由を以下のとおり区分します。
①既に、ご意見等の内容を踏まえた素案としているもの
②ご意見等の内容が個別・具体的なため、素案を修正しないもの(なお、今後の事業の展開にあたっては、参考とさせていただきます。)
③その他の理由により、修正しないもの

資料1-2

	意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
1	安田副会長	全体	質問	生涯学習やスポーツへの高齢者の参加を促すことが健康寿命の延伸に直結しているように思います。 多くの高齢者が利用参加したくなるようなことを考えてほしいと思います。	市民の健康寿命の延伸や社会参加を促進していくため、様々な生涯学習・スポーツ活動に関する取組みを実施していきます。		
2	武田委員	主な取組 2. 生涯学習活動を行うための環境の充実		生涯学習活動を行うための環境の充実は、(役所の担当課だけではなく)コミュニティセンター及び体育室、学校の施設などを合わせて表現できないか。	現素案における生涯学習活動の環境の整備については、所管課だけでなく市全体の中で取り組んでいくことを前提にしているものと認識しております。	なし	①
3	福本議員	主な取組 1. 市立図書館を活用した情報収集・読書環境の充実	質問	・生涯にわたる読書習慣を身につけていくため、市立図書館と学校図書館との連携を深めることについて、まずは、図書館司書と学校司書との連携が必要ではないか。 ・本市としては、学校司書の設置の方向性についてはどのように考えているのか。	・学校図書館司書の会議に図書館司書が参加し、意見交換するなどして連携を図っていますが、今後は図書館司書が講師となって学校司書向けの講習会を開催するなど、更なる連携強化に取り組んでいきます。 ・市立図書館と学校図書館は、貸出パックの利用や合同研修等の連携を実施しています。司書同士の連携も含め、合同の研修会等を引き続き実施していく予定です。 ・文部科学省が示す配置方針を念頭に、引き続き専門性のある学校司書の安定的な配置に向け努めます。		
4	福本議員	主な取組 1. 市立図書館を活用した情報収集・読書環境の充実	修正	・オーディオブックには「耳で読書をする」といった新しい読書への気づきや視覚障がい者にとって、「音声で本を読める」ことは大きなメリットがあると考えられる。 ・普段図書館を来館しない方や図書館に来館することが難しい障がいのある方々が図書サービスを利用しやすい環境を整えるため、電子図書館サービスや「オーディオブックサービス」を充実します。としてはどうか。	現在導入している「電子図書館サービス」では、音声読み上げ機能などが備わっているほか、「オーディオブック」も利用することができる環境となっています。「オーディオブック」は、1タイトルの費用が高額であるため、現時点で蔵書数は少なくなっていますが、引き続き、誰もが読書を楽しむことができる環境を整えるため、電子図書館サービスの充実に取り組んでいきます。	なし	②
5	福西議員	主な取組 1. 市立図書館を活用した情報収集・読書環境の充実		「来館することが難しい障がいのある方等が図書サービスを利用しやすい環境を整えるため、電子図書館サービスを充実します。」 ・電子図書館サービスの充実に注力していただくと同時に、誰もが読書を楽しむことができる環境を整える観点から「より一層のバリアフリー化に取り組む」等の対応も必要ではないかと思えます。	図書館では、電子図書館サービスの他に大活字本やLLブックの配架、拡大読書器や筆談ボードの設置、郵送貸出や対面朗読の実施など障がいのある方等が図書サービスを利用しやすい環境を整えるための取組を実施しています。引き続き、誰もが読書を楽しむことができる環境の充実に取り組んでいきます。	なし	①
6	久会長	評価指標	修正意見	生涯学習の評価指標が来館者数に偏っています。いずれかを講座数や講座参加者数に変更したほうがいいのではないのでしょうか。	各施設の管理運営は、指定管理者が担っており、年度によって講座等の開催数にばらつきがあります。また、講座等への参加に限らず気軽に施設に来館していただきやすい環境を整えていくことから、比較しやすい評価指標として施設の来館者数としています。	なし	③
7	久会長	主な取組	修正意見	大阪市では、生涯学習の役割に「新しい公共を担う人材の育成」を掲げています。また尼崎市では協働部に「生涯、学習推進！課」を設置し、学びと協働を連携させています。主な取り組み等に、市民自治を担う「市民力」を向上するための生涯学習を位置づけることが必要ではないのでしょうか。	「市民力」を向上するための生涯学習については、他自治体の取組等を研究しながら、今後検討していきます。	なし	②
8	福西委員	主な取組 1. 市立図書館を活用した情報収集・読書環境の充実	当日意見	「…誰もが読書を楽しむことができる環境を整えるため、電子図書館サービスの充実に取り組んでいきます。」とあるように、終わりが無いという観点から、「誰もが読書を楽しむためにより一層のバリアフリー化に取り組む」と一文を入れておく方がいいのではないかと思います。どうか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 図書館に来館しなくても読書が楽しめる環境や、普段から図書館を利用しない方や図書館に来館することが難しい障がいのある方等が図書サービスを利用しやすい環境を整えるため、電子図書館サービスを充実します。 ↓ 図書館に来館しなくても読書が楽しめる環境や、普段から図書館を利用しない方や図書館に来館することが難しい障がいのある方等が図書サービスを利用しやすい環境を整えるため、電子図書館サービスの充実など、引き続き読書バリアフリー化に取り組みます。	あり	

	意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正 有無	修正無 理由(※)
9	久 会長	全体	当日意見	大阪市と尼崎市は、戦略として生涯学習と地域コミュニティの自治力向上を連携させています。そういう生涯学習部門と地域コミュニティ部門が連携することによって、こういうことができていくので、そこを検討して進めてほしいと思います。	現在も地域コミュニティや市民協働の担当課と連携を取っている部分がありますが、ご指摘の部分につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。	なし	②
10	福本 委員	主な取組 1. 市立図書館を活用した情報収集・読書環境の充実	当日意見	視覚障がい者の方がオーディオブックを通して本を聴くことができる、障がい福祉の観点から進めるのがよいのではないかと思います。若者たちの活字離れが進んでいるという視点も大事だが、障がい福祉の視点から進めていくことも検討してほしいと思います。どこかからか切り込んでいかないといけないと思うので、費用が高いからできないではなく、どうすればできるかを検討してほしいと思います。	「オーディオブック」は、現在の電子図書館サービスでも利用することから、利用者ニーズに基づき、他の電子書籍とのバランスも見ながら購入を進めていきます。	なし	①

基本計画(素案)に対する【質問】【意見】一覧 (施策14 文化) P32、33

※事務局の考え方として、修正なしとした理由を以下のとおり区分します。

①既に、ご意見等の内容を踏まえた素案としているもの

②ご意見等の内容が個別・具体的なため、素案を修正しないもの（なお、今後の事業の展開にあたっては、参考とさせていただきます。）

③その他の理由により、修正しないもの

資料1-2

意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
1 武田委員	主な取組 2. 市民の文化・芸術活動を支援するための体制の確保		指導者の育成や専門職員の配置から、指導者の育成方法の検討や大学との連携強化に変更されていますが、専門職員の配置はあきらめたのでしょうか。	専門職員の配置の有無にかかわらず、市民の文化・芸術活動を支援するための体制の確保について取り組んでいきます。		
2 福本委員	主な取組 3. 本市の魅力資源としての文化財の保存と活用		・東海道57次の宿場町である「守口宿」というワードが必要ではないか。 ・市民にあまり知られていない、大塩平八郎のゆかりの書院跡があったことや明治維新の先駆けとなる大塩平八郎の乱への市民の関わりなどを研究調査し、広報等で紹介してはどうか。	3. 本市の魅力資源としての文化財の保存と活用 ・東海道57 次の宿場町「守口宿」としての面影が残るに修正します。 大塩平八郎ゆかりの書院跡については、文化財マップや広報紙等で紹介していますが、その他の取組については、市内の文化財の知見を有する団体等に相談するなどして、今後検討していきます。	あり	
3 福西委員	主な取組 3. 本市の魅力資源としての文化財の保存と活用		「守口文化財マップやもりぐちぶらり歩きマップを活用し」 ・まず現状のマップを、市民が手に取って、思わずルート散策してみたくなるようなより魅力的なものにしてはどうかと思います。	引き続き、マップを活用していただけるように取り組んでいきます。		
4 久会長	主な取組 2. 市民の文化・芸術活動を支援するための体制の確保	修正意見	主な取り組み「2. 市民の文化・芸術活動を支援するための体制の確保」は支援だけでなく協働も必要ではないでしょうか。茨木市の子育て・文化複合施設「おにクル」では、主体的に活動している若手芸術家との共創を意識して増やしてきました。	他自治体の事例を研究しつつ、市民協働担当課との連携も検討していきます。	なし	②
5 久会長	主な取組 3. 本市の魅力資源としての文化財の保存と活用	修正意見	「3. 本市の魅力資源としての文化財の保存と活用」では、文化庁も提唱する「歴史を活かしたまちづくり」「文化遺産を活かした地域活性化」など面的に展開するまちづくりの観点ももう少し付け加えてはどうでしょうか。	文化財等を活かしたまちづくりを推進していくためには、まず所蔵している文化財等の保存・活用や魅力創造・発信が必要であることから、引き続き取り組んでいきます。	なし	③

基本計画(素案)に対する【質問】【意見】一覧（施策23 地域産業） P50、51

	意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
1	池嶋委員			小売店舗の経営者の高齢化や店舗の継承者の問題、大型小売店舗等の進出により地域の商店街はシャッター通りとなって久しいが、今後の地域の商店街の活性化についてどのような方策を考えておられるのか。	イベント開催やECサイトの開設など商業活性化に伴う補助金を設置し地域商業を支援しているところです。 一方、大型店やスーパーなどの進出も目覚ましく、市民の選択肢の幅は広がっています。 商店街などでは地域を巻き込んだイベントの開催や市域全体で実施される商業まつりなど地域に根付いた小売業の活性化への支援は継続してまいります。		
2	福本委員	主な取組 3. 地域コミュニティの交流の場を目指した商店街等の取組の支援	修正	・地域コミュニティの交流の場としての役割と共に「地域振興」の役割も担っているのではないか。	ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 (修正前)商店街が地域コミュニティの交流の場となっています。 (修正後)商店街が地域コミュニティの交流の場、地域における振興の拠点となります。	あり	
3	福西委員	現状と課題 1		「工場の操業による騒音や…企業の市外流出が生じています。住民と企業の双方において、住工共生の必要性についての理解を深めていくことが課題です。」 ・理解を深めていくことは大切ですが、同時に騒音等を出さない企業誘致にも尽力すべきではないでしょうか。市内の事業所数の減少を見ると対策を急ぐ必要があります。ちなみに、平成21年と比較して令和3年の事業所数は、約78%まで減少しています。(守口市統計書：経済センサス活動調査R3)課題として、企業誘致や起業支援等の視点も必要だと思います。	企業誘致や企業支援等の記載はありませんが、今後もあらゆる業種の創業に関して商工会議所や地域の金融機関等との連携を図り、相談窓口の設置やセミナー開催など、様々な支援を実施するとともに、本市で実施している工業支援策について、市内外に向けてあらゆる機会を通じて発信し、企業誘致、企業支援に取り組みます。	なし	②
4	福西委員	主な取組 1. ものづくりを続けられる住工共生環境や操業環境の整備		「企業による周辺の生活環境を保全・改善するための設備(防音壁、街灯、緑化等)の設置や自社ホームページの開設、地域交流の取り組みを支援します。 ・支援のために、守口市工業活性化支援補助金の補助事業を実施していますが、利用状況はどうか。特に、住工共生にかかわる「生活環境保全設備等設置事業」について、支援の成果は上がっているのでしょうか。もし、当初の予想通りの活用がないとすれば、どこに課題があると認識しておられますか。	工業活性化支援補助金において生活環境保全設備設置事業は3件、地域交流事業が3件が利用されています。 生活環境保全設備設置事業として工場の操業音の軽減を目的とした設備等の導入に対しての支援の事例もあり、住工共生の促進の一助として効果があるものと考えています。		
5	久会長	主な取組	修正意見	大学でも「起業家育成」に力を入れています。守口市でも起業支援を行っていると思いますが、この点が現在の記述では読み取れません。また、近畿大学では起業の一環として「アトツギ」に注目し、血族の事業承継だけでなく第三者承継も応援しています。起業よりも事業承継のほうがリスクが少なくなるという面もあります。こうした視点も必要ではないでしょうか。	本市で実施している工業支援策について、市内外に向けてあらゆる機会を通じて発信し、企業誘致、企業支援に取り組むとともに、大阪府や商工会議所と連携し、円滑なマッチングを支援することで事業継承にもつなげてまいります。	なし	②
6	久会長	主な取組	修正意見	生駒市では、農家と市内レストランをつなぎ、農業と商業の活性化を図っています。こうした分野を超えた連携の視点も重要と考えます。また、消費行動も含め、地域内経済循環を増加させることも必要だと思います。生産＝流通＝販売＝消費を一体的に捉えるなかでの商工業振興です。	市内農家と民間事業者における連携による消費行動につきましては現在、市と都市農業研究会が栽培した守口大根を特定の飲食店と連携し、守口大根の漬物を販売しているところです。 本市の農家は専業農家はなく流通量も限られることから、生産から消費を大きな産業振興ではなく個々の連携による活性化策であると考えています。	なし	②
7	福西委員 久会長	5年後の守口像	当日意見	・企業誘致や起業支援の視点が感じられません。5年後の守口像を見ても、この中のワードが「維持・改善」「継承」とか、現状を維持していこうという考えしか見えません。行政としても企業誘致や起業支援にもっと力を入れるべきだと思う。 ・中小企業の事業の継続、持続可能性を高める施策をされているので、そこを少し変えると、先ほどの意見への対応はできると思います。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 住工共生への理解や共生を促進するとともに、操業環境の改善等に取り組むことで現事業者が事業を営みやすい環境を創出し、企業誘致にも繋げます。	あり	
8	由井委員	主な取組 1. ものづくりを続けられる住工共生環境や操業環境の整備	当日意見	「事業活動を阻む規制」という表現は、阻むとはどういった規制か具体的にわからないが、必要があって行われている規制だと思うので、「阻む規制」というこの表現は検討したほうが良いと思います。事業活動を阻むために規制をしているわけではなく、必要があって行われている規制だと思います。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「時代の変化や操業環境の変化に対応するため、規制の見直しや企業ニーズに合わせた支援を行い、挑戦する企業を応援します。」	あり	
9	福本委員	5年後の守口像	当日意見	質問の回答で修正後の「商店街が地域コミュニティの交流の場」そのあとの「地域における振興の拠点」は意味がわかりにくいです。例えば、「地域振興の拠点としての機能」か、「地域における何かの振興の拠点」にしないと言葉がわかりにくいと思います。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 →「…商店街が地域コミュニティの交流の場、地域振興の拠点として機能しています。」	あり	

基本計画(素案)に対する【質問】【意見】一覧 (施策24 魅力創造・発信) P52、53

※事務局の考え方として、修正なしとした理由を以下のとおり区分します。

①既に、ご意見等の内容を踏まえた素案としているもの

②ご意見等の内容が個別・具体的なため、素案を修正しないもの（なお、今後の事業の展開にあたっては、参考とさせていただきます。）

③その他の理由により、修正しないもの

資料1-2

	意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
1	福本委員	主な取組 3. 観光振興及び自治体交流	修正	・大阪府や「大阪観光局」また民間事業者等との連携によりにしてみようか。	ご意見を踏まえ、「大阪府や大阪観光局、民間事業者等との連携」に修正します。	あり	
2	福本委員	主な取組 3. 観光振興及び自治体交流	質問	・観光振興及び自治体交流の中で、本市がリーダーシップを発揮し、東海道と京街道を合わせた57次の宿場町を抱える自治体との交流振興に取り組み、積極的に文化や歴史的遺産の発信を行ってみたい。	東海道57次区市町連絡協議会にも参画しており、自治体間それぞれの資源や地域特性を活かしながら相乗効果を図れるよう連携しつつ、取り組みを進めます。		
3	福西委員	現状と課題 3		「大阪・関西万博を契機に、今後も国内外の観光客の増大が見込まれ」 ・今後も国内外の観光客の増大が見込まれるのは、どこを指しているのでしょうか。	大阪府を指しています。大阪・関西万博のイベントにおいて、大阪府下の市町村がそれぞれの自治体のPRができる機会をいただけたので、国内外の方に大阪府のPRができたと考えます。		
4	福西委員	主な取組 1. 本市らしさのある魅力コンテンツの創造		「なにわの伝統野菜である「守口大根」を市の貴重な資源として広くPRするイベントとして、守口大根長さコンクール等を実施します。」 ・守口大根の特性を生かして長さコンクールをすることは理解できます。しかし、なにわの伝統野菜との記載があるように、野菜として味わってもらえることが本来だと思います。この点についての発信も必要ではないでしょうか。	以前は守口大根レシビコンクールを開催し、守口大根の調理法を周知することで守口大根のPRに努めてきましたが、守口大根は現在、市と都市農業研究会で栽培している約400本の生産に限られていることから、幅広い流通が難しいため、市内飲食店に守口大根の漬物の作成用として一部を販売し、長さコンクールの会場で来場者に守口大根の漬物を試食していただき、守口大根を味わっていただいています。		
5	久会長	主な取組 2. 効果的な情報発信	修正意見	シティプロモーションはこれまでもさまざまな取り組みを行ってきたと思います。その効果を的確に評価し、効果的・効率的な取り組みを実践していく視点がより重要ではないでしょうか。いわゆるメリハリをつける視点です。	市が行うシティプロモーションについては、イベント後のアンケート調査結果をもとに、効果検証を行っています。ご意見をいただいた点を踏まえながら、今後もシティプロモーションを行っていきたいと考えています。	なし	①
6	福西委員	主な取組 1. 本市らしさのある魅力コンテンツの創造	当日意見	広くPRという意味は、市内だけではなく市外にもPRすることだと思いますが、長さコンクールは市内の一部の人のみ参加されている状況だと思います。そもそも本数が少ないので、何の情報発信したいのか、非常にわかりにくいと思います。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「市のPR資源の一つである、なにわの伝統野菜「守口大根」の長さコンクールを実施し、市内外に広く周知するとともに、季節限定のふるさと納税の返礼品目として活用できるよう取り組むなど、市の魅力度のさらなる向上に繋げていきます。」 なお、守口大根長さコンクールにつきましては、世界一の長さであること、本市の名を冠する「守口大根」をきっかけとして、市の知名度アップにつなげるイベントであると考えております。今後も市広報誌、市ホームページ、SNSのみならず報道提供をするなど、市内外の方に知っていただけるよう周知していきます。	あり	
7	事務局	評価指標	審議会後修正		評価指標①を「魅力創出を目指した新規イベントの開催件数」としていましたが、新規イベントの開催件数に限定するだけでなく、市内外のイベントにより、守口市を知り、訪れて機会を創っていただけるよう、「守口市の魅力を知り、訪れる機会を創出するイベントの開催件数」に変更します。	あり	
8	事務局	評価指標	審議会後修正		評価指標③を「来訪者数増加を目指した市のSNS発信件数」としていましたが、来訪者数の増加を目指したSNSだけでなく、来訪者の増加を目的としつつも、併せてシティプロモーション活動を推進することができるため、「来訪者増加を目的としたシティプロモーションを含む市のSNS発信件数」に変更します。	あり	

基本計画(素案)に対する【質問】【意見】一覧（施策26 行財政運営） P56、57

※事務局の考え方として、修正なしとした理由を以下のとおり区分します。

①既に、ご意見等の内容を踏まえた素案としているもの

②ご意見等の内容が個別・具体的なため、素案を修正しないもの（なお、今後の事業の展開にあたっては、参考とさせていただきます。）

③その他の理由により、修正しないもの

資料 1-2

意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
1 池嶋委員			現在、財政調整基金をはじめ基金の残高は約202億円となっているが、今後は税収減が見込まれる中、市民サービスが低下する事がない様にどの様な行政運営をされていくのか。	あらゆる事業費の増嵩等に伴う市の財政状況を注視しつつ、施策の「選択と集中」を図りながら、安定的な行財政運営を行います。		
2 池嶋委員	主な取組 3. 少数精鋭組織の構築		少数精鋭の組織の構築とありますが、職員数は令和元年度は717名、令和6年度は665名と52名減ですが、この間職員の疲弊が感じ取れ、事務手続きにおいてミスが多々見受けられるが、まだこれ以上の職員の削減を考えているのか。	現在、ミスの発生しやすいポイントを押さえ、チェック体制の強化を図ることができる体制を構築しているところです。 このような事務ミス防止の取組みとともに、民間委託の推進やDXの取組みなどにより、市民サービス向上と職員のワークライフバランスの両立を図って参ります。		
3 福本委員	現状と課題 3	質問	・更なる少数精鋭組織を目指していくためにはの「更なる」について、本市の職員数は府内でも最も少なく、これ以上減らすことに弊害はないのか。 (最近多く起こっている事務手続きのミスや技術系職員の不足や今後おこるであろう災害時における職員の派遣等と考え、検討する必要があるのではないか)	現在、ミスの発生しやすいポイントを押さえ、チェック体制の強化を図ることができる体制を構築しているところです。 このような事務ミス防止の取組みとともに、民間委託の推進やDXの取組みなどにより、市民サービス向上と職員のワークライフバランスの両立を図って参ります。 令和6年に発生した能登半島地震でも本市職員を派遣したように、引き続き市内の防災対策に加え、必要に応じ他自治体への復旧・復興の職員派遣を行います。		
4 福西委員	現状と課題 3		「計画的な職員数の適正化に取り組み、本市の職員数は大阪府内でも最も少ない水準となっています。」 ・職員数が少ないという現状が記載されていますが、その現状の下で、最近事務手続き上のミスが散見されます。職員数が少ないことも原因の一つだとの課題認識はないのでしょうか。	現在、ミスの発生しやすいポイントを押さえ、チェック体制の強化を図ることができる体制を構築しているところです。 このような事務ミス防止の取組みとともに、民間委託の推進やDXの取組みなどにより、市民サービス向上と職員のワークライフバランスの両立を図って参ります。		
5 福西委員	主な取組 1. 柔軟性等のある財政構造の確立		「災害発生時の不足の事態」 ・「不測の事態」ではないでしょうか。	ご意見のとおり、「不測の事態」に訂正します。	あり	
6 福西委員	もりグッド		文章1行目「市の保有する」 ・重複しているので、どちらかを削除した方が良いのではないのでしょうか。	ご意見のとおり、次のとおり修正します。 (修正前) 「市の保有する「ヒト・モノ・カネ・情報」といった市の保有するさまざまな経営資源を最大限に活用し、…」 (修正後) 「市の保有する「ヒト・モノ・カネ・情報」といったさまざまな経営資源を最大限に活用し、…」	あり	
7 久会長		質問	意見すると「施策26」と「施策27」の役割分担が読み取りづらいです。施策26は行政運営と財政運営に分解できますが、とくに行政運営と施策27に分担が分かりづらくなっています。行政組織全体の組織論や人材育成が「施策26」であり、個々の公共サービスについて述べているのが「施策27」という理解でいいのでしょうか。	ご質問のとおり、「施策26」は本市の行財政運営に係る組織論や人材育成に関する内容を、「施策27」は個々の公共サービスに関する内容をそれぞれ記載しております。		
8 久会長	主な取組 2. 効果的かつ効率的な行政運営	修正意見	総務省「自治体戦略2040構想研究会」報告では、サービスプロバイダーからプラットフォームビルダーへの転換とともに、圏域マネジメントの必要性が述べられています。公共施設や公共サービスについての周辺自治体との連携、相互乗り入れの視点です。こうした視点も重要ではないでしょうか。	総務省「自治体戦略2040構想研究会」報告にある、公共施設や公共サービスについての周辺自治体との連携、相互乗り入れの視点は認識しております。 ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 (修正前) 周辺自治体等と連携し、広域行政や自治体連携による取組を拡大します。 (修正後) 持続可能な形で、質の高い市民サービスを提供し続けられるような「プラットフォーム」の構築を見据え、周辺自治体等と連携し、広域行政や自治体連携による取組を拡大します。	あり	

	意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
9	池嶋委員	全体	当日意見	ここ最近、事務手続きにミスが多発しています。これからも職員を減らす計画があるのかどうか。私は減らすよりも、あえて職員を採用して、ミスをなくす方策をもっとしていかなければならないと思いますがいかがですか。	職員数については、守口市定員管理計画に掲げた職員数となるよう、計画的に採用してまいります。 現在、ミスの発生しやすいポイントを押さえ、チェック体制の強化を図ることができる体制を構築しているところです。	なし	①
10	福本委員	全体	当日意見	少数精鋭を目指していくということは、今までもやってきて更に職員が減っていくのかということに危惧しています。職員の事務量は大変なことになっています。私は職員の数これから見直していかないといけないと思っています。 例えば、災害が起きた時に、きちんと避難所運営をできる体制づくりを整えていくという意味でも、職員数を減らすのは考えていかないといけないと思います。このことはよくよく検討してもらいたいです。	職員数については、守口市定員管理計画に掲げた職員数となるよう、計画的に採用してまいります。 災害時に避難所を直ちに開設できる体制を構築するとともに、開設後には地域の方々とともに運営できるよう、あらかじめ職員を指名しています。避難所に従事する職員と地域の方々が連携して取り組む防災訓練を引き続き実施します。	なし	①
11	福西委員	全体	当日意見	(事前質問において)職員数が少ないことが原因の一つだと課題認識を持っているのかを聞いているのですが、事務局の考え方の答えが質問とマッチしていません。	現在、ミスの発生しやすいポイントを押さえ、チェック体制の強化を図ることができる体制を構築しているところです。 このような事務ミス防止の取組みを進めることで少数精鋭組織を引き続き維持できるものと考えています。	なし	①
12	事務局	主な取組 2. 効果的かつ効率的な行政運営	審議会後修正		より分かりやすい表現とするため、以下のとおり修正します。(上記「8」関連) ・質の高い市民サービスを持続的に提供するため、協働の「プラットフォーム」の充実による「新しい公共」の促進や周辺自治体等との連携による広域行政の取組を拡大します。 また、「新しい公共」に注釈をつけます。 「新しい公共」…これまで行政が担ってきた公共サービスを、住民、NPO、企業などの多様な主体が協働して提供していくという考え方で、社会の成熟化や価値観の多様化に対応し、地域社会の持続的な発展を目指すもの。	あり	

基本計画(素案)に対する【質問】【意見】一覧 (施策27 公共サービス) P58、59

※事務局の考え方として、修正なしとした理由を以下のとおり区分します。

①既に、ご意見等の内容を踏まえた素案としているもの

②ご意見等の内容が個別・具体的なため、素案を修正しないもの（なお、今後の事業の展開にあたっては、参考とさせていただきます。）

③その他の理由により、修正しないもの

資料1-2

意見提出者	該当箇所	質問等	意見・質問 内容	事務局の考え方	修正有無	修正無理由(※)
1 福本委員	主な取組 2. 行政のデジタル化の推進	修正	・プライバシーやセキュリティの問題もあるため公共データは「ルールのもと」オープンにすることが必要ではないか。	ご指摘の通り、個人情報等への配慮が必要であると考えております。本市では、国が策定したオープンデータの基本方針に則り、デジタル庁が推奨する自治体標準オープンデータセットに規定されたデータセットを公開しております。それらデータについては、例えば「地域・年齢別人口」について、各地方公共団体の実情に応じて、対象地域の設定を行うなどといった個人特定が可能になるなど、統計上秘匿とすべきデータとならないようルールが定められており、その運用に沿って公開をしています。 ----- 修正案 開かれた市政の推進と市民参加の促進に向けて、誰もが利用しやすい形でのオープンデータの公開を進め、データ利活用の環境整備を図ります。 ⇒開かれた市政の推進と市民参加の促進に向けて、誰もが利用しやすい形でのオープンデータとして定められたルールのもと公開を進め、データ利活用の環境整備を図ります。	あり	
2 福西委員	主な取組 3. 協働・共創の仕組みづくりの推進		「協働・共創の仕組みづくりの推進」 ・「共創」という言葉は、市民の認知度がまだまだ低いように感じます。丁寧な説明が必要だと思います。 ・そもそも総合基本計画の中には、広く市民の理解を得ているとは言い難い用語が散見されます。その場合は、理解を得るための丁寧な説明が必要です。この計画は、「市民のための計画」であるという視点をしっかりと持つべきだと思います。	ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 (修正前) 多様な主体との協働・共創による取組を進めていくため、企業や大学との包括連携協定等を積極的に活用し… (修正後) 多様な主体と協力して共通の目的を達成する「協働」と、対話を通じて新たな価値を創造する「共創」による取組を、適正かつ積極的に進めていくため、企業や大学との包括連携協定等を活用し…	あり	
3 久会長	主な取組 3. 協働・共創の仕組みづくりの推進	修正意見	「3. 協働・共創の仕組みづくりの推進」のパートナーには市民団体やNPO、地域団体も含まれると思います。そのためには「プラットフォーム」の構築が重要です。しかし、市民等を無償ボランティアで使い、従来の公共サービスの安請け合いの相手にはなりません。適正な協働が求められます。	協働の取組については、「施策12 市民協働」で記載しており、本市では、平成26(2014)年度に「公募型協働事業提案制度」を創設し、市民等との協働に取組んでいます。 ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 (修正前) 多様な主体との協働・共創による取組を進めていくため、企業や大学との包括連携協定等を積極的に活用し… (修正後) 多様な主体と協力して共通の目的を達成する「協働」と、対話を通じて新たな価値を創造する「共創」による取組を、適正かつ積極的に進めていくため、企業や大学との包括連携協定等を活用し…	あり	
4 福西委員	現状と課題	当日意見	P58現状と課題の2番目、「様々な手続きの電子化」ではないか。	ご意見の通り修正します。	あり	
5 事務局	主な取組 2. 行政のデジタル化の推進	審議会後修正		より分かりやすい表現とするため、以下のとおり修正します。(上記「1」関連) 開かれた市政の推進と市民参加の促進に向けて、個人情報保護等に配慮しつつ、誰もが利用しやすい形で行政情報の公開を進めるオープンデータ化を促進するなど、データ利活用の環境整備を図ります。	あり	